

2017年2月度（第348回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2017年2月16日（木） 14：00～17：00

開催場所：文京シビックセンター5階 会議室A

参加人数：16名

記入者：(株)サンメディア 磨 尚久、古賀めぐみ
旭化成ファーマ(株) 廣谷

第一部 サービス紹介「文献入手をスマートに！新しいWebサービス”ARROW”」

(株式会社サンメディア)

1. ARROWの機能と特徴（株式会社サンメディア 磨 尚久）

従来の文献Webオーダーシステムに代わる、WebサービスARROWを2017年1月にリリース致しましたので、その機能と特徴について下記の説明を行いました。

- ① DOI や PMID での文献のご注文
- ② ご依頼文献のお見積り機能
- ③ オープンアクセス誌確認機能
- ④ 電子配信サービス Article Direct のご利用簡素化
- ⑤ リンクリゾルバーとの連携
- ⑥ ダイレクトエクスポートの利用（医中誌Webとの連携）
- ⑦ CSVダウンロード機能（ご注文内容の明細ダウンロードなど）
- ⑧ 管理者決済機能

2. 電子デリバリーArticle Directについて（株式会社サンメディア 古賀 めぐみ）

ARROWでますます利用が簡単になるArticle Directについて下記の説明を行いました。

- ① 対象タイトル数は、国内外約3万タイトル。今後さらに増加予定
- ② 日本円での価格設定で、部署毎や他の文献と一括しての請求書作成が可能
- ③ ご注文から最大で2時間以内に電子デリバリー
- ④ DRMの利用で、不用意な違法複製を防止

3. Beyond ARROW under development（株式会社サンメディア 松下 茂）

最後に今後のARROWの開発計画の話を行いました。

第二部 検索演題

■検索演題①

(1) 必要と思われる情報と入手するための情報源

- ・基本情報：添付文書、インタビューフォーム (IF)。IF の開発の経緯で概要を把握できる。また審査報告書申請資料概要より IF で不足する情報や不正確な情報の確認・補足する。PMDA のサイト。
- ・薬剤の概要：薬剤紹介の文献「総論」
- ・薬価算定情報：中央社会保険医療協議会の資料
- ・臨床試験情報：文献データベース (医中誌、JAPICDOC、JMEDPlus、MEDLINE、EMBASE、COCHRANE 等)、AdisInsights、ClinicalTrials.gov 等
- ・特許情報：Cortellis、IMSPatentFocus、J-PlatPat 等
- ・開発経緯や薬剤のポテンシャル：パイプラインデータベース
- ・治療の位置づけ：ガイドライン
- ・新聞、ニュース記事：日経テレコン、G-Search、SCRIP、薬事日報、日刊薬業、など
- ・適応疾患の余命・発症率等の情報：国立がん研究センターHP
- ・全般：メーカーの HP

(2) 高薬価について国会議員から情報提供を求められたと想定し提供すべき情報

- ・国民医療費、薬剤費などの統計データ
- ・適応疾患患者数、市場規模と売り上げ予測
- ・薬価算定根拠資料、薬価の他国との比較
- ・開発・製造コスト
- ・従来品との比較データ、手術を含む他治療との比較
- ・治療後の患者 QOL
- ・一般紙や業界紙、企業・業界での見方
- ・関連学会や患者会の意見

こうした情報を提示し総合的に判断するための材料となるよう説明する。

■検索演題②

- ・能力や技術：

相手の知りたいことを聴き出す能力 (相手に必ずしも専門知識があると限らない。しっかり傾聴し引き出す、事前調査の状況、想定経費や希望件数、対象データベース、調査範囲等) 信頼関係構築能力 (日頃からの信頼関係、必要に応じコンタクトを取り目的を達成) 調査結果の伝達や各種ツール活用力 (データ処理、資料作成、文章力、メール、スカイプ等)

- ・知識：

専門知識 (調査内容に関する知識)

周辺情報の知識 (所属機関の目的、戦略、業界の動向)

情報源に関する知識 (データベースの特徴、検索式)

調査内容の信頼性を見極める知識 (情報ソースによる違いを踏まえる)

著作権の知識（伝える際のコピー利用等）

・その他：

社内教育の重要性（データベースに関する正しい知識が必要：例えば PubMed で単語一つの入力で検索し満足しているケースもあり残念）、ベンダーとの交渉力（よいデータベースを適正価格で導入するための努力が専門知識とともに必要）といった意見もあった。

その他

CiNii について話題提供：2017 年 4 月以降は新規掲載が無くなる。

以上